

とちぎ秋まつりの開催

1. とちぎ秋まつりについて

歴史的建造物や伝統的建造物が残る町並みを背景に繰り広げられる「とちぎ秋まつり」は、江戸・明治時代の商都としての豊かさが江戸型人形山車の豪華な山車文化を栃木にもたらし、栃木の人達によって大切に受け継がれてきました。

現在、9台の山車と一対の獅子頭があり、ゆっくりと巡行する山車の前を、錫杖しゃくじょうを持った手古舞姿てこまいの子ども達や、山車を曳く鯰背いなせな着物姿や職人姿の大人達が通りを行き交い、お囃子の音色が響き渡り江戸の風情がよみがえってきます。



2. とちぎ秋まつりの起源と開催状況について

明治7年(1874)栃木県庁構内で行われた神武祭典じんむさいてんを起源とし、その後神武祭や神社の付祭として執り行われ、昭和12年(1937)の市制施行祭以降は、市の発展の祭礼として行われてきました。近年は2年に一度の開催で、前回は令和4年に開催され、期間中約23万人が訪れました。

3. 開催概要

- 名称 令和6年とちぎ秋まつり
- 主催 令和6年とちぎ秋まつり実行委員会
- 日時 11月1日(金) 午前9時30分～午後3時30分 こども山車まつり
2日(土) 午前9時～午後8時 本まつり
3日(日) 午前9時～午後7時 本まつり
- 会場 栃木県栃木市 とちぎ蔵の街大通り及びその周辺
- 巡行山車 山車9台及び獅子頭1対
- 観光客数 見込み 250,000人
- 見どころ 江戸・明治時代に作られた絢爛豪華な江戸型人形山車
日没後の提灯に照らし出された山車とお囃子の幻想的な世界
山車が向かい合って、お囃子を競い合う「ぶっつけ」
地元の産業と物産展、郷土芸能(お囃子、和太鼓等)披露
今回初めて、嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区内の例幣使街道を、本まつりの両日、各日3台の山車等が巡行し、蔵の街スポーツクラブ南側道路上にてぶっつけを行います。

「ぶっつけ」とは … 複数の山車が向かい合って、お囃子を競い合うまつり一番の見どころです。
提灯や扇子などを振りかざし、掛け声をかけながらお囃子を盛り上げます。
お囃子の調子がズレた山車が道を譲るのがお約束です。

4. こども山車まつりについて

「こども山車まつり」は伝統を体験してもらい次世代に継承することを目的に、平成22年から開催しており、今年で7回目の開催となります。

今年は市内すべての小学校29校の3、4年生、約2,300人が参加し、9台の江戸型人形山車を曳き、伝統を体験していただきます。

5. 秋まつり日程表

1 11月1日（金）こども山車まつり【まつり会場交通規制 午前9時～午後4時】

- 午前9時30分～ まつり会場内巡行
- 午後12時～ 休憩
- 午後1時25分～ まつり会場内巡行（午後2時45分まで）

1 11月2日（土）、本まつり【まつり会場交通規制 午前9時～午後8時30分】

- 午前9時～ 各町内巡行
- 午前9時30分～ 巴波川巡行（午前10時ごろ 幸来橋（予定））
- 午前9時30分～ 新栃木駅巡行（午前10時20分ごろ 新栃木駅前（予定））
- 午後1時30分～ 出発式 まつり会場内巡行
- 午後1時40分～ 例幣使街道巡行
- 午後4時30分～ 休憩
- 午後5時30分～ まつり会場内巡行
- 午後8時～ 各町内御飯屋へ

1 11月3日（日）本まつり【まつり会場交通規制 午前9時～午後8時30分】

- 午前9時～ 各町内巡行
- 午前9時30分～ 栃木駅巡行（午前10時ごろ 栃木駅前（予定））
- 午前10時～ 巴波川巡行（午前10時30分ごろ 幸来橋（予定））
- 午後1時30分～ まつり会場内巡行
- 午後1時40分～ 例幣使街道巡行
- 午後4時30分～ 休憩
- 午後5時30分～ まつり会場内巡行
- 午後6時45分～ 手締式（3日のみ）
- 午後7時～ 各町内御飯屋へ

6. 全市的な祭りに向けて様々な取り組み

○ 栃木商業高等学校ビジネス研究部との連携・協力

栃木商業高等学校ビジネス研究部の皆様と連携し、とちぎ秋まつりで製作するグッズの提案、また、とちぎ秋まつり公式SNS（Facebook、instagram）の発信において、周知用の動画の作成にご協力をいただいております。

○ 國學院大學栃木中学校、市内高等学校、國學院大學の生徒・学生の協力

國學院大學栃木中学校の生徒には、会場内での清掃活動、市内高等学校の生徒には、山車の曳手、國學院大學の学生には、獅子頭の担ぎ手をしていただきます。若い世代の地域愛を育み、おもてなしの心の醸成を図ってまいります。

○ 市民協賛の募集

とちぎ秋まつりでは、市民挙げての祭りとして多くの皆様に支えていただくため、協賛金を募っております。開催趣旨をご理解いただきご協力をお願いしております。

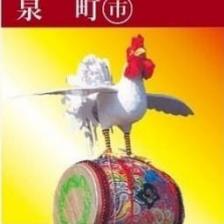
- ・協賛金：一口1,000円から
- ・特典：秋まつり特製木札もしくは特製ハンカチを差し上げます。

（1口につき1枚希望者のみ）

- ・期間：11月3日（日・祝）まで
- ・受付：（一社）栃木市観光協会

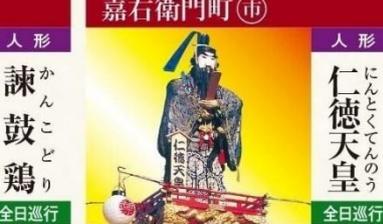


7. 山車等について



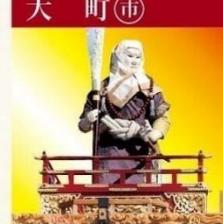
人形
諫鼓鶏
かんこどり
全日巡行

①明治7年(1874)以前
②作者不明
③天下泰平の象徴。良い政治が行われ訴えを聞く太鼓を叩く者が無く、鳥が太鼓に巣を作ったという故事。



人形
仁徳天皇
にんとくてんのう
全日巡行

①昭和期
②安生
③【山車】漆塗り仕上げ
【上段幕】嘉の文字の意匠化刺繍



人形
弁慶
べんけい
全日巡行

①明治期 ②作者不明
③【前柱】昇り下りの竜の彫刻
【裏格子】豊作の印、葡萄と木鼠の彫刻
【正面】紅羅唐獅子牡丹の透かし影
【傍】波に亀の影 【前垂】梅に鶯の影

凡例

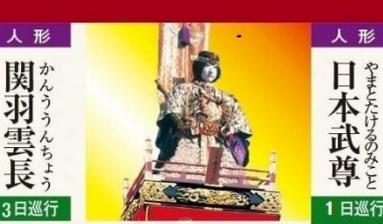
Ⓔ 県指定有形民俗文化財
Ⓕ 市指定有形民俗文化財

① 制作・購入年
② 人形の作者
③ 山車等の特徴



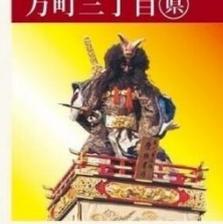
人形
関羽雲長
かんううんちよう
3日巡行

①明治11年(1878)
②人形師 三代目 法橋 原舟月
③【上段幕】緋羅紗地 飛竜 緋入刺繍
【見送幕】錦繡 竜小丸 鳳凰小丸袖紋



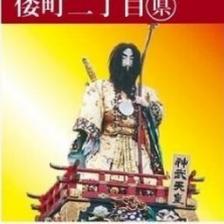
人形
張飛翼徳
ちようひよくとく
3日巡行

①明治11年(1878)
②人形師 三代目 法橋 原舟月
③【上段幕】羅紗 四神刺繍
【見送幕】錦繡 七宝枠に亀 牡丹 菊織込



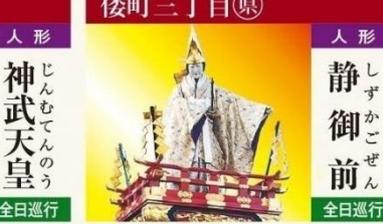
人形
素盞鳴尊
すさのおのみこと
1日巡行
2日巡行

①明治26年(1893)
②人形師 三代目 法橋 原舟月
③【上段幕】羅紗 四神刺繍
【見送幕】錦繡 七宝枠に亀 牡丹 菊織込



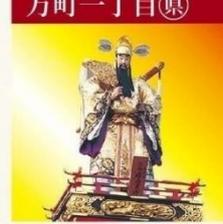
人形
神武天皇
じんむてんのう
全日巡行

①明治26年(1893)
②人形師 三代目 法橋 原舟月に依頼し制作は古匠楽山
③【上段幕】四面緋羅紗 金色竜丸に雲刺繍
【見送幕】木綿地に赤白緑の緞子



人形
静御前
しずかごぜん
全日巡行

①嘉永元年(1848)
②松雲斎徳山
③【水引幕】錦繡に巴紋の刺繍
【見送幕】金糸で若松の刺繍



人形
劉備玄德
りゅうびげんとく
3日巡行

①明治11年(1878)
②人形師 三代目 法橋 原舟月
③【上段幕】緋羅紗地 飛竜 緋入刺繍
四面一枚続き
【見送幕】錦繡 牡丹唐草宝尽し三色緋



人形
天照大神
あまてらすおみかみ
1日巡行
2日巡行

①明治26年(1893)
②人形師 三代目 法橋 原舟月
③【上段幕】緋羅紗地 飛竜 緋入刺繍
四面一枚続き
【見送幕】錦繡 牡丹唐草宝尽し三色緋



人形
桃太郎
ももたろう
全日巡行

① 明治28年(1895)頃
②大沢銀之丞
③【人形座】勾欄、中段、腰、囃子座は意匠を統一
【欄間】長押を二重彫り



人形
雌獅子
めじし
全日巡行

①明治6年(1873)以前 ②作者不明 ③金箔に生漆喰仕上げ。厄除け和合火防の獅子



人形
雄獅子
おじし
全日巡行



秋まつり特設サイト

8. 町内代表者

町内	代表者	連絡先	備考
大町	長島 篤	0282-22-1683	実行委員長
	中尾 秀美	0282-22-4399	
嘉右衛門町	関根 勉	0282-24-1255	
泉町	高橋 悦男	0282-22-4662	
万町三丁目	大栗 利夫	0282-22-4387	
万町二丁目	小又 正和	0282-23-7200	
万町一丁目	善野 佐次平	0282-22-0058	
倭町三丁目	澤井 康男	0282-23-5126	
倭町二丁目	神山 裕紀	0282-23-2251	
倭町一丁目	殿塚 治	0282-24-2161	
室町	時田 喜久や	0282-24-9227	

【問い合わせ】
産業振興部 観光振興課
担当：福田・石沢・小花
電話：0282-21-2851